

QC 検定 2 級のための手法集中講座開催報告！

QCサークル北陸支部新潟地区
運営責任者 西山(株)コロナ

7月20日(水)、および8月4日(木)に燕三条地場産業振興センターリサーチコアにおいて、「QC検定2級のための手法集中講座」が行われました。今回は、初の2日間コースの上、ハイブリッド開催と初物づくしによる開催となりましたが、コロナ禍によるオミクロン株の蔓延もあり、参加いただいた方は、現地在場が6名、オンライン参加が4名の計10名と少なかったことが残念でした。本講座は2級の難しいとされる統計的手法に焦点を当てた講義を2日間で行うもので、その実施状況とアンケート結果(一部掲載)を踏まえた報告を以下にまとめました。

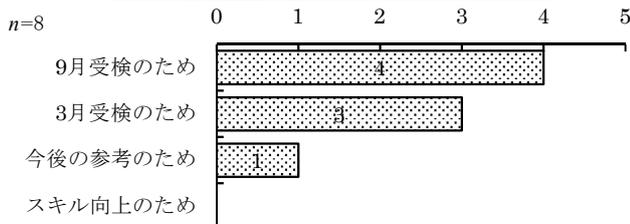


図1 参加の目的

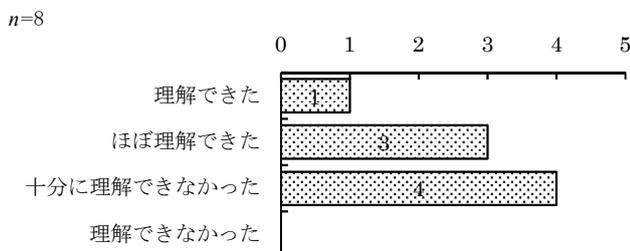


図2 講座内容の理解

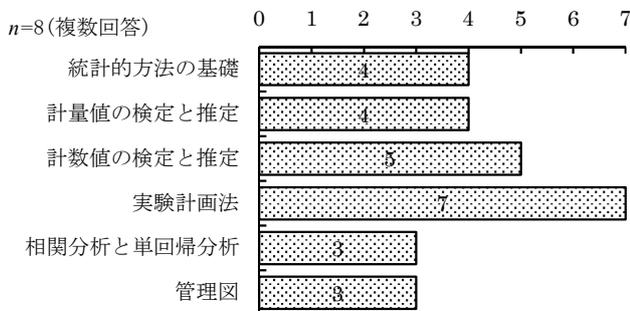


図3 理解できたカリキュラム

① 当日は、現地参加が9名(2日目は6名)と少なかったこともあり、会場スペースを大きく、間隔を広げて感染予防対策を十分に行って開催することができました。ハイブリッド参加者が1名(2日目は4名)でしたが、通信に問題はなかったとのことでよかったです。講師は2級講座としては初めての幹事を2名加えましたが、担当したカリキュラムと演習問題解説をしっかりと行うことができ、これも準備の賜物です。

② 2級は基礎ができていないと覚えるのが難しいですので、演習問題はQC検定方式の語群から選択するのではなく、解析手順をしっかりと記載する方法に工夫しています。その結果、講座内容の理解については、いつもは理解できなかったが多少はいたものが、今回は0、ほぼ理解できたが半分以上と大きく向上しています。



③ 今回は2日間コースとしましたが、カリキュラムは増やさずに同じカリキュラムの講義と演習時間を受講者のペースで行うように改善しています。その結果、カリキュラムのほとんどが理解できたとして増加し、中でもいつも難しく評価の低かった「実験計画法」が一番伸長しており、効果てきめんです。

QC検定2級講座は、2日間コースをベースに、よりわかりやすく、確実に合格できる講義をめざして改変してまいります。最後に、参加いただいた方のQC検定2級の一発合格、ならびに自社におけるQCレベルの発展へのご活躍を祈念申し上げます。

QC 検定 3 級のための手法集中講座開催報告！

QCサークル北陸支部新潟地区
運営責任者 上野(株コロナ)

7月20日(水)に燕三条地場産業振興センターリサーチコアにおいて、「QC検定3級のための手法集中講座」が行われました。当日は現地とオンライン形式によるハイブリッド開催で行い、計27名(男性21名、女性6名)の方からご出席いただきました。その内、オンライン参加の方は11名で、現地、オンライン参加ともにQC検定3級合格のための要点に的を当てた講義を1日(9:00~17:00)掛けて行いました。その実施状況とアンケート結果(一部掲載)を踏まえた報告を以下にまとめました。

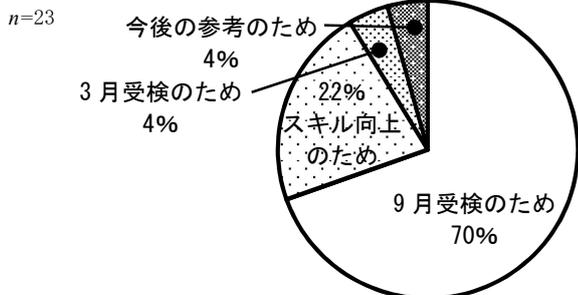


図1 参加の目的

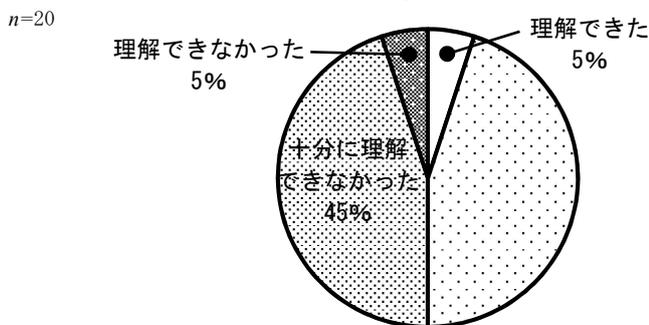


図2 講座内容の理解

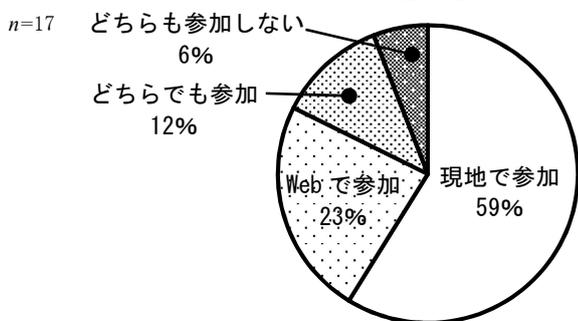


図3 現地とWebのどちらで参加

① 当日は、時間通りにトラブルもなくスタートを切ることができました。初のハイブリッド開催ということで、現地、Web どちらにも対応できるよう講師陣を配置していましたが、やはり、現地参加の方への質問応答や、解答過程を直接見てのアドバイスが主となってしまい、オンライン参加の方への支援・指導が不十分となりました。オンライン参加の方への理解の有無の把握と対応が今後の課題として明確になりました。

② 演習問題は過去問と新潟地区オリジナルで構成したもので、出題傾向の強いものを選定しています。受検を控えている方たちにとっては、実践的な問題に四苦八苦しながらも真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。ただし、参加者のうち、9月4日の受検挑戦者以外が30%もいて、QCスキル向上を目的とする方にとっては、物足りなさを感じたことと思います。



③ 講座の内容の理解については、ほぼ理解できたが50%と約半分程度に留まり、講師役の幹事の教え方、およびテキスト等の教材や時間配分などの工夫により、60%以上の理解をいただくよう改善してまいります。なお、Webでの受講希望の方が23%とニーズがあることを認識しておりますので。引き続き現地との併用を行ってまいります。

新型コロナウイルス感染症におけるオミクロン株の感染拡大の中での開催となりましたので、残念ながら参加される方が少なかったものの、初のハイブリッド開催を行うことができよかったです。最後に、参加いただいた方のQC検定合格、ならびに自社におけるQCレベルの発展へのご活躍を祈念申し上げます。